

〈特集補遺「アスペクト」〉

## マレーシア語の相 Aspect in Malay

野元 裕樹<sup>1</sup>, ムハッマド・ファリス・シノン・ビン・マスニン<sup>2</sup>  
Hiroki Nomoto, Mohd Farez Synon bin Masnin

<sup>1</sup>東京外国語大学大学院総合国際学研究院  
Tokyo University of Foreign Studies, School of Language and Culture Studies

<sup>2</sup>ゼンマーケット株式会社  
ZenMarket Inc.

**要旨:** 本稿ではマレーシア語の(視点)相を概観する。データは、特集「アスペクト」のためのアンケートに基づく。

**Abstract:** This article overviews (viewpoint) aspect in Malay. The data is based on the questionnaire prepared for the special topic “Aspect.”

**キーワード:** 相 (アスペクト), 視点相, 「もう」, マレーシア語

**Keywords:** aspect, viewpoint aspect, *already*, Malay

### 1. はじめに

本稿では、特集のアンケート項目に基づき、マレーシア語の相、特に視点相 (viewpoint aspect)<sup>1</sup>について概観する。視点相とは、述語の表す状況 (situation)<sup>2</sup>が成立する時間と話し手が取り上げる時間(トピック時間 (topic time))という、2つの時間の関係性に関する意味範疇である (Klein 1994)。この関係性はしばしば、話し手が状況のどの部分を「見ている」か、というような比喻により記述がなされる。話し手が状況(全体)を外側から見て、それが完結しているように語るのが完結相 (perfective)、状況を内側から見て、それが継続中であるように語るのが非完結相 (imperfective)である。完結相では、トピック時間が状況時間を包含するのに対し、非完結相では状況時間がトピック時間を包含する。完了相 (perfect) と前望相 (prospective)<sup>3</sup>は2つの時間の包含関係でなく、前後関係を表す。具体的には、完了相では状況時間がトピック時間に先行するのに対し、前望相では状況時間がトピック時間に後続する。視点相は、状況そのものの内部構造である状況タイプ (situation type)<sup>4</sup>や、トピック時間と発話時間の関係性の標識である時制とは区別されるべきものであることに注意されたい<sup>5</sup>。ちなみに、マレーシア語には時制はない。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス(CC-BY)下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

<sup>1</sup> 「文法的相 (grammatical aspect)」とも呼ばれる。

<sup>2</sup> 「状況」は、出来事/事象 (event) と状態 (state) をまとめた上位概念である。「事象類 (eventuality)」という用語も用いられる。

<sup>3</sup> 中国語学では「将然相」とも呼ばれる。

<sup>4</sup> 「語彙的相 (lexical aspect)」や「アクチオンズアルト (Aktionsart)」とも呼ばれる。

<sup>5</sup> 視点相、状況タイプ、時制については、Kroeger (2019)の20章が分かりやすく解説している。また、『語学研究所論集』の特集「アスペクト」のまえがきである、風間 (2010)の2節も参照されたい。

本稿で示すデータは、マレーシア国内の地域方言の差を超えて使われる、マレーシア語の標準方言のものである。標準方言においては、書き言葉と話し言葉があり、2つの変種間の差は大きく、ダイグロロシア状況を生んでいる。本稿のデータは基本的に話し言葉のものである。例文はムハマド・ファリス・シノンが特集アンケートの日本語文に基づいて作文した。特集アンケートでの例文番号は【 】に入れて示す。

本稿の構成は以下の通りである。まず、2節では完結相および完結相や完了相と間違われやすい「もう」という表現について取り上げる。次に、3節では非完結相および日本語で継続相「～ている」が生起する文について論じる。4節では、状況時間とトピック時間の前後関係を表す2つの相、すなわち完了相と前望相を扱う。特集アンケートのその他の調査項目は、5節にまとめて掲載する。

## 2. 完結相と「もう」

完結相 (perfective) は、特別な形式を用いずに、すなわち無標の形式で表現できる。

### (1) a. Ali datang.

Ali come

「アリは来た。」

### b. Semalam Ali datang.

yesterday Ali come

「昨日アリが来たよ。」

### c. Semalam Ali tak datang.

yesterday Ali not come

「昨日アリは来なかったよ。」

【7】

【8】

書き言葉の固い文体では、助動詞 *telah* が完結相の標識であると考えられる(2c)。ただし、(2)の日本語文に相当するマレーシア語でより一般的なのは、(2a-b)、(3)のように *sudah* やその短縮形の *dah* を用いた文である。これら2つの語は、完結相の標識と記述されることが多いが、2.1節で論じるように、実は英語の *already* や日本語の「もう」に相当する。

### (2) a. {Ali / Orang itu} *sudah* datang.

Ali person that already come

### b. {Ali / Orang itu} *dah* datang.

Ali person that already come

### c. {Ali / Orang itu} *telah* datang.

Ali person that PFV come

「{アリ／あの人} はもう {来た／来ている}。」

【1, 2】

### (3) Saya *sudah / dah* makan epal itu.

1SG already already eat apple that

「私はあのリンゴをもう食べた。」

【9】

Asmah (2009: 120)は、*sudah* と *telah* について、文体の違いの他に以下の2つの違いがあると指摘する。  
①*sudah* は出来事や状態がすでに終了していることを表すのに対し、*telah* はその点が不明である。②*telah*

は特定の過去の時点を指すのに対し, *sudah* は不特定または述べられていない過去の時点に言及する。*Asmah* は, これらの違いを示す例文として, それぞれ(4)と(5)に示した容認性の違いを指摘する。しかし, ムハマド・ファリス・シノンとその他 10 名の話者の判断ではこのような違いは認められなかった。

- (4) a. \**Saya sudah* menulis esei itu kelmarin tetapi belum selesai.  
1SG already write essay that yesterday but not.yet finish  
b. *Saya telah* menulis esei itu kelmarin tetapi belum selesai.  
1SG PFV write essay that yesterday but not.yet finish  
「私は昨日そのエッセーを書いたが, 終わらなかった。」

(Asmah 2009: 121)

- (5) a. *Dia sudah* berangkat.  
3SG already leave  
「彼(女)はもう出発した。」  
b. \**Dia telah* berangkat.  
3SG PFV leave  
c. *Dia telah* berangkat pukul tujuh pagi.  
3SG PFV leave o'clock seven morning  
「彼(女)は朝7時に出発した。」

(Asmah 2009: 121)

*dah* は, (6a)のように, 文末/動詞後に生起することもできる<sup>6</sup>。さらに, (6b)のように, 動詞前の *dah* と文末の *dah* が共起することも可能である。Soh (2011)は, 2つの *dah* は統語的に異なる位置に生起するもので, 動詞前の *dah* を L(ow)-Asp, 文末/動詞後の *dah* を H(igh)-Asp と分析している。

- (6) a. *Ali datang dah.* 【1, 2】  
Ali come already  
b. *Ali dah datang dah.*  
Ali already come already  
「アリはもう {来た/来ている}。」

*dah* と *nak* 「~しようとする」の組み合わせで, (7)のように, 状況がこれから発生しようとしていることが表せる。

- (7) a. *Ali dah nak datang tak lama lagi.*<sup>7</sup> 【5】  
Ali already PROS come soon  
b. *Ali nak datang dah tak lama lagi.*  
Ali PROS come already soon  
「アリはもうすぐ来る。」

<sup>6</sup> *sudah* が文末に生起することは標準マレーシア語では稀である。一方, サバ方言ではこれはごく普通のことである。

<sup>7</sup> ライブツイヒグロス規則にない略号: EXPER: experiential; PART: particle; PROS: prospective.

(7)の日本語文の意味は助動詞 akan 「～だろう」によっても表すことができる(8a). akan は nak と違い, dah と共起できない(8b).

- (8) a. {Ali /Orang itu} akan datang tak lama lagi. 【5】  
Ali person that will come soon  
「{アリ／あの人} はもうすぐ来る。」  
b. \*{Ali /Orang itu} dah akan datang tak lama lagi.  
Ali person that already will come soon

sudah/dah を含む文は, 状況が発生することが予期されていた場合にも, されていなかった場合にも使われる. (9)の文の使用は, (10)に示したいずれの状況でも適切である.

- (9) Ali sudah / dah datang-lah! 【6】  
Ali already already come-PART  
「アリが来た！」

- (10) a. 状況 1 : 店でアリが来るのを友達と一緒に待っていて, ようやくアリが到着した.  
b. 状況 2 : 外国に行かなければならないので, アリはその日の会議に出席できないと聞いていた.  
会議が始まろうとしたとき, 誰かが会議室にやってくるのが見えた.

sudah/dah を含む文の否定は普通, (11)–(12)のように, 否定辞 belum 「まだ～ない」により表される. (13)のように, 通常の否定辞 tidak/tak 「～ない」を使うと非文になる.

- (11) {Ali / Orang itu} belum datang. 【3, 4】  
Ali person that not.yet come  
「{アリ／あの人} はまだ {来ない／来ていない}。」

- (12) Saya belum makan epal itu. 【10】  
1SG not.yeteat apple that  
「わたしはあのリンゴをまだ {食べない／食べていない}。」

- (13) a. \*{Ali /Orang itu} tidak sudah datang.  
Ali person that not already come  
b. \*{Ali /Orang itu} tak dah datang.  
Ali person that not already come

野元&ムハマド・ファリス・シノン (2019) では, belum を tidak/tak + sudah/dah/telah の補充形とみなした. (13)が非文になる理由は述べなかったが, 統語構造上は tidak/tak + sudah/dah/telah が可能であるものの, 語彙挿入の段階で補充形の belum により実現されなければならないためであると考えていた. 一方, Soh (2011)は, (13)の非文法性を, 統語構造において動詞前の dah は否定辞よりも上の位置になけ

ればならない ([L-AspP dah [NegP tak ...]]) ためであるとした。(14a)のように, dah が否定辞 tak に先行すれば, 非文法性は生じない。

- (14) a. Aku *dah* tak ingat nama dia (dah).  
1SG already not remember name 3SG already  
「僕はもう彼女の名前を憶えていない。」  
b. \*Aku *tak dah* ingat nama dia (dah).  
1SG not already remember name 3SG already

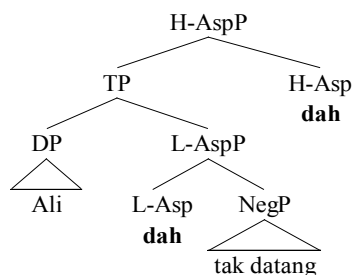
(Soh 2011)

Soh の分析では, tidak/tak + sudah/dah/telah は統語構造上, 生じ得ないものであり, belum をその補充形と考えることも妥当でないことになる。

(15a)のように, dah が否定辞 tak に先行する場合, 前者が後者を作用域に取る解釈となる。そのため, (15)の文はいずれも(11)とは意味が異なる。(15b)では, dah が tak に先行していないが, 先行する場合と同じく, dah が tak よりも構造上高い位置にある。Soh (2011)に従い, 動詞前と動詞後の dah の構造的位位置は, (16)の樹形図のようであると考えられる。

- (15) a. Ali *dah* [tak datang].  
Ali already not come  
b. Ali [tak datang] *dah*.  
Ali not come already  
c. Ali *dah* [tak datang] *dah*.  
Ali already not come already  
「アリはもう来ない。」 / \*「アリはまだ来ない。」

(16)



## 2. 1. Sudah/dah について

Vander Klok & Matthewson (2015)は, 多くの言語の記述において完結相, 完了相と「もう (already)」の区別がきちんと検討されず, 混乱が生じていることを指摘する。その議論はマレーシア語の sudah/dah についても当てはまる<sup>8</sup>。言語学の研究書や論文において, 多くの先行研究は sudah/dah を完結相 (Ramli 1989, Koh 1990, Nomoto & Soh 2019, 野元&ムハマド・ファリス・シノン 2019) としてきた。語学

<sup>8</sup> 兄弟言語であるインドネシア語の状況については, Vander Klok & Matthewson (2015)を参照。日本で出版されているインドネシア語学習書では「完了」という用語が用いられていることが多いようである (森山・柏村・稲垣 2018 など)。ただし, それが実際に指すのが完了相なのか完結相なのかは定かでない。

書の小野沢 (1996: 72) は *sudah/dah* を「完了」相としているが、実際に意図されているのが完了相なのか完結相なのかは不明である。一方, Soh (2012)は動詞前の *dah* は完結相, 文末/動詞後の *dah* は「もう」であると主張する。Mintz (2012: 78)は, *sudah* は「もう」ではないと明言し, *sudah* は「英語の状況が終結したことを表す完結相 (the English perfective aspect which indicates that a situation has been completed)」に近いと述べている。この記述から, 「完結相」という用語は使われているものの, 実際に意図されているのは完了相であることが分かる。

Vander Klok & Matthewson (2015)によると, 3つは以下の特徴により区別できる。

- (17) a. X が完結相の標識であれば, X を含む文は習慣の解釈と相容れない。
- b. X が完結相の標識であれば, X を含まない文は, 非過去の解釈が好まれる<sup>9</sup>。
- c. X が「もう」であれば, 否定との相互作用における真理条件的等価性により「まだ (still)」, 「まだ～ない (not yet)」, 「もはや～ない (no longer/not any more)」と類を成す (Löbner 1989 など)。完了相にはこの特徴はない。
- d. X が「もう」であれば, 「早いこと」を示唆する (Löbner 1989 など)。
- e. X が「もう」であれば, 状態述語と用いられたときに開始の解釈が得られる。
- f. X が「もう」であれば, 過去の時間的区間を指定する副詞と相容れる (Giorgi & Pianesi 1997 など)。
- g. X が完了相の標識であれば, 「拡張現在 (Extended Now)」の解釈を持つ (McCoard 1978)。

このうち(17f)は, 時制が文法的に実現される言語でのみ有効である。

これらの基準に従うと, マレーシア語の *sudah/dah* は完結相や完了相の標識ではなく, 「もう」であるということになる。

[a] (18)のように, *sudah/dah* を含む文は習慣の解釈が可能である。

- (18) Pukul 6.35 pagi *biasanya* aku *sudah* berada di ofis.<sup>10</sup>  
 o'clock 6:35 morning usually 1SG SUDAHbe at office  
 「朝6時35分には普通, 僕は(もう)オフィスにいる。」

[b] (1)からすでに明らかのように, *sudah/dah* を含まない文は容易に過去の解釈が可能である。以上より, *sudah/dah* は完結相の標識ではないということになる。

[c] *sudah/dah* は否定との相互作用において, *masih* 「まだ」, *belum* 「まだ～ない」, *tidak/tak lagi* 「もはや～ない」と真理条件的等価性に基づく類を考えることができる。(19)の外部否定である(20a)は *masih* の内部否定である(20b)と真理条件的に等価である。上述のように, *tidak/tak + sudah/dah* という形式は非文法的で, 代わりに *belum* 「まだ～ない」が用いられる。(20c)の外部否定→*masih* [p] (『まだ雨が降っている』ではない)は, *sudah* の内部否定である(20d)と真理条件的に等価である。*tidak/tak + masih* という形式も非文法的であるが, その意味を表す別の語は存在しない。最も近いのは, *tidak/tak + lagi* 「もはや～ない」である。

<sup>9</sup> この基準がどの程度有効か筆者には疑問であるが, ここではとりあえず採用することにする。

<sup>10</sup> <http://lanjoy2010.wordpress.com/>, MALINDO Conc (Nomoto et al. 2018)を用いて2019年12月30日にライプツィヒコーパスコレクション(Goldhahn et al. 2012)のZSM WEB2012サブコーパスから採集。

(19) *sudah* [p]

Dah hujan.

DAH rain

「もう雨が降っている。」

(20) a.  $\neg$  *sudah* [p]

*Belum* [hujan].

not.yet rain

「まだ雨が降っていない。」

b. *masih* [ $\neg$ p]

*Masih* [tak hujan].

still not rain

「まだ雨が降っていない。」

c. *masih* [p]

*Masih* [hujan].

still rain

「まだ雨が降っている。」

d. *sudah* [ $\neg$ p]

*Dah* [tak hujan].

DAH not rain

「もう雨が降っていない。」

[d] 「もう」は状況が文脈上想定される時間よりも前に起きることを表す。 *sudah/dah* を含む文は、そのような意味を伝える。(21)では、半島マレーシアでの日没の時刻が念頭にあり、それと比較してボルネオ島のクタキナバルの日没の時刻が早いことを述べている。

(21) Pukul 6 *dah* gelap macam kul 8 kat semenanjung.<sup>11</sup>

o'clock 6 DAH dark like o'clock 8 at peninsula

「6時は半島の8時みたいにもう暗い。」

[e] *sudah/dah* は状態述語とともに用いられると、述語の表す状態が現在まで続いていることではなく、それが成立するようになったことを表す。

(22) Dia *dah* dewasa /tua.

3SG DAH adult old

「彼(女)はもう{大人だ/年寄りだ}。」

「もう」は基準となる時間以前に $\neg$ pであることがあり得ないような状態とは意味的に相容れないことが知られている。マレーシア語の *sudah/dah* についてもその特徴が観察される。(23)がおかしいのは、子供/若者から大人/年寄りになることは普通に起こるのに対し、その逆の変化は通常の文脈ではありえないからである。

(23) #Dia *dah* kanak-kanak /muda.

3SGDAH child young

#「彼(女)はもう{子供だ/若い}。」

<sup>11</sup> <http://ismailkhir.blogspot.com/>, MALINDO Conc (Nomoto et al. 2018)を用いて2019年12月30日にライブツイヒコーパスコレクション(Goldhahn et al. 2012)のZSM WEB2012サブコーパスから採集。

[g] 完了相は、(現在時制では) 現在と関連性を持つ過去の状況を表す。McCoard (1978)はこれを現在時制完了相には「拡張現在 (Extended Now)」が関与するためであると分析した。(24a)の容認性が下がるのは、現在完了形が使われていることにより、ゲーテンベルグが現在も存命であるような解釈が発生してしまうからである。

(24) a. ??Gutenberg has discovered the art of printing.

b. Gutenberg already discovered the art of printing (in the fifteenth century).

(McCoard 1978 による Dietrich 1955 からの引用)

マレーシア語の sudah/dah を含む文では、拡張現在により容認性が下がることはない。(25)の文はいずれも主語がすでに亡くなっている人物であるが、意味的な不自然さはない。

(25) a. Pada usia yang muda, Columbus dah menemui Amerika.

at age REL young Columbus DAH discover America

「若くして、コロンブスはもうアメリカを発見した。」

b. Arwah datuk saya dah menunaikan ibadah haji.

late grandfather 1SG DAH carry.out devotion pilgrimage

「亡き祖父はもう巡礼の義務を果たしました。」

以上より、sudah/dah は完了相の標識ではなく、「もう」であると結論できる。

sudah/dah の意味は基本的には、Krifka (2000)が英語の already について提案した分析と同じでよいだろう。Krifka の分析では、already は焦点に敏感な演算子で、時間・数値等の尺度上で焦点が他の代替要素のいずれよりも高い位置にあることを前提として含む。主張される命題が尺度の最高点にあるというのは、可能な範囲内で最も状況が進展しているということで、ここから「想定される時間より前」という含意が生じる。「想定される時間」とは、普通で速度で状況が進展する場合の時間だからである。

(26)では、already のない文(26a)では考慮される、リディアが3か月よりも上であるという命題が already のある文(26b)では考慮されなくなる。

(26) a. Lydia is three<sub>F</sub> months old.

考慮される代替要素：{リディアは1か月だ、リディアは2か月だ、リディアは3か月だ、  
リディアは4か月だ、リディアは5か月だ}

主張される代替要素：{リディアは3か月だ}

b. Lydia is already three<sub>F</sub> months old.

考慮される代替要素：{リディアは1か月だ、リディアは2か月だ、リディアは3か月だ}

主張される代替要素：{リディアは3か月だ}

(Krifka 2000: 5)

(22)のマレーシア語文ならば、{幼児、小学生、高校生、大人}、{幼い、若い、年寄り}といった代替要素集合が考慮され、文脈上決定される尺度においてこの順に並んでいるということが dah の語彙的意味から導かれる。そこから、「彼(女)」の成長が話し手・聞き手の想定するよりも早く進んでいるという含意が得られる。



### 3. 非完結相と「ている」

非完結相 (imperfective) のうち, 進行相 (progressive) は, (27)のように助動詞 *sedang* や *tengah* を用いて表す. *tengah* は口語体のみで用いられる. *tengah* は「真ん中」という意味の名詞としても用いられる. *sedang* は, もっぱら進行相の標識として用いられるものの, 「ちょうどよい, ほどよい」という意味の形容詞の用法も持つ.

(27) Orang itu *sedang / tengah* makan epal itu sekarang. 【11】

person that PROG PROG eat apple that now

「あの人は今 (ちょうど) そのリンゴを {食べています/食べているところです}。」

日本語では結果状態を表すのに継続相の「~ている」を用いるが, マレーシア語では動詞に接頭辞 *ter-* が付加した形式が用いられる.

(28) Tingkap itu *ter-buka*. 【12】

window that TER-open

「窓が {開いている/開いていた}。」

結果状態の *ter-*動詞と共起するのは, 進行相の *sedang* や *tengah* ではなく, 完結相の *telah* である.

(29) Tingkap itu {*\*sedang/\*tengah / telah*} *ter-buka*.

window that PROG PROG PFV TER-open

「窓が {開いている/開いていた}。」

また, この種の *ter-*動詞文は動作主の存在を含意しない. その点で, 動作主の存在が含意される, 受動文とは異なる. (30)に示したように, 動作主句が共起できるのは受動文だけである.

(30) a. *\*Tingkap itu ter-buka oleh Siti*.

window that TER-open by Siti

(「その窓はシティによって開けられている」の意で<sup>12</sup>)

b. *Tingkap itu di-buka oleh Siti*.

window that PASS-open by Siti

「その窓はシティによって開けられた。」

日本語では「~ている」を用いることができる習慣相にも, *sedang* や *tengah* は用いられない. マレーシア語には習慣相を表す特別な形式はない.

(31) a. *Saya baca surat khabar tiap-tiap pagi*. 【13】

1SG read newspaper every morning

「私は毎朝新聞を {読む/読んでいる}。」

<sup>12</sup> 非意図的行為の *ter-*動詞文の受動態で「その窓はシティによって (うっかり) 開けられてしまった」という意味なら可能である.

- b. \*Saya sedang / tengah baca surat khabar tiap-tiap pagi.  
1SG PROG PROG read newspaper every morning
- (32) a. Pada waktu itu, saya pergi ke sekolah setiap hari. 【15】  
at time that 1SG go to school every day  
「私はその頃毎日学校に通っていた。」
- b. \*Pada waktu itu, saya sedang / tengah pergi ke sekolah setiap hari.  
at time that 1SG PROG PROG go to school every day

恒常的真理を表すのにも sedang や tengah は用いられない。

- (33) a. Bumi bergerak mengelilingi matahari. 【22】  
earth move turn.round sun  
「地球は太陽の周りを回っている。」
- b. \*Bumi sedang / tengah bergerak mengelilingi matahari.  
earth PROG PROG move turn.round sun

日本語では到達動詞「似る」に「～ている」を付けて「似ている」とすることで、状態を表す。マレーシア語では、「似ている」は、(34)のように形容詞 *serupa* やその他動詞形 *menyerupai* を用いて表す。sedang や tengah を用いることはない(35)。

- (34) a. Kamu serupa dengan ibu kamu. 【14】  
2SG alike with mother 2SG
- b. Kamu menyerupai ibu kamu.  
2SG resemble mother 2SG  
「あなたは（あなたの）お母さんに似ている。」
- (35) a. \*Kamu sedang / tengah serupa dengan ibu kamu.  
2SG PROG PROG alike with mother 2SG
- b. \*Kamu sedang / tengah menyerupai ibu kamu.  
2SG PROG PROG resemble mother 2SG

#### 4. 完了相と前望相

マレーシア語には、経験相 (experiential) を表す助動詞 *pernah* が存在する。英語の完了形と違い、一般的な完了相がその用法の一つとして経験を表すのではなく、マレーシア語の *pernah* は経験の意味に特化している。

- (36) Saya pernah pergi ke Tokyo. 【16】  
1SG EXPER go to Tokyo  
「私は東京に行ったことがある。」

nak およびその文語形の *hendak* は, 前望相を表すとみなせる. *nak/hendak* は, 「欲しい, ~したい」という意味の動詞と同形であり, そこから文法化により発達したものと考えられる. 例文は, 下の(37)の他に, (7)および(43a)も参照されたい.

- (37) a. Sekarang ini pun pokok itu nampak macam (dah) *nak* rebah. 【23】  
now this too tree that look like already PROS fall  
b. Sekarang ini pun pokok itu kelihatan seperti (sudah) *hendak* rebah.  
now this too tree that look like already PROS fall  
「あの木は今にも倒れそうだ。」

## 5. その他

特集アンケートの調査項目でまだ登場していないものを以下に列挙する. 開始を表すのには, (38)のように動詞 *mula(i)* が用いられる. 普通, 能動態標識 *meN-*を伴わないので, ある意味, 助動詞的になっていると言えるかもしれない.

- (38) Akhirnya bas *mula(i)* bergerak. 【17】  
finally bus start move  
「やっとバスは {走り出した/走り始めた}。」

「ずっと~する」を表す特別な文法形式は存在しない. その意味は, 小辞や副詞により表す.

- (39) a. Semalam dia tidur *sahaja*. 【18】  
yesterday 3SG sleepjust  
b. Semalam dia tidur *sepanjang hari*.  
yesterday 3SG sleepwhole day  
c. Semalam dia *asyik* tidur *saja*.  
yesterday 3SG preoccupiedsleepjust  
「昨日彼女はずっと寝ていた。」

「~してみる」は動詞 *cuba* で表す. (38)の *mula(i)* 「~し始める」と同様に, この種の *cuba* も能動態標識 *meN-*を伴わないのが普通である.

- (40) Saya *cuba* makan itu sikit. 【19】  
1SG try eat that a.little  
「私はそれをちょっと食べてみた。」

複数回の行為の繰り返しを表すのに, (41)のように動詞の重複形が用いられることがある.

- (41) Orang itu *bahagi-bahagikan* benda itu kepada semua orang. 【20】  
person that divide thing that to all person  
「あの人はそれをみんなに分け与えた。」

勧誘文だから特別な相の表現が現れるということはない。

- (42) Jom, kita bertolak / pergi! 【21】  
let's 1PL leave go  
「さあ、(私たちは) 行くよ！」

「～するところだった」というように、状況が実現しそうだったが、実際には実現しなかったことを表すには、(43)のように、副詞 *hampir* 「ほとんど」が用いられる。 *dah* 「もう」と共起する場合には、*dah* が *hampir* を作用域に取る必要がある(43b-c)。

- (43) a. Saya *hampir* (nak) terjatuh 【24】  
1SG almost PROS fall  
b. Saya [*hampir* terjatuh] *dah*.  
1SG almost fall already  
c. \*Saya *hampir* [*dah* terjatuh].  
1SG almost already fall  
「私はあやうく転ぶところだった。」

「～ておく」というような準備を表す特別な形式はない。

- (44) Esok ada tetamu akan datang, jadi saya beli roti. 【25】  
tomorrow be guest will comt so 1SG buy bread  
「明日客が来るので、パンを買っておく。」

マレーシア語には時制がないので、「過去における過去」、「過去における未来」のような複雑時制や、発話時点ではなく主節の時制が基準となる相対時制の現象は、原理的にあり得ない。

- (45) Semasa saya pergike pasar, saya beli beg ini. 【26, 27】  
when 1SG go to market 1SG buy bag this  
「私は市場に {行ったとき/行く時に}, この袋を買った。」

- (46) Sebelum saya pergike pasar, saya beli beg ini. 【27】  
before 1SG go to market 1SG buy bag this  
「私は市場に行く前に, この袋を買った。」

(45)-(46)に *dah* 「もう」を入れることは可能で、描写する状況も変わらないが、*dah* の表す「想定される時間より前」という意味 (2.1 節を参照) が入る点で上の日本語文の表す意味とはズレが生じる。

- (47) a. Semasa saya pergike pasar, saya *dah* beli beg ini. cf. (45)  
when 1SG go to market 1SG already buy bag this  
「私は市場に {行ったとき/行く時に}, この袋をもう買ってあった。」

- b. Sebelum saya pergi ke pasar, saya *dah* beli beg ini. cf. (46)  
before 1SG go to market 1SG already buy bag this  
「私は市場に行く前に、この袋をもう買ってあった。」

従属節の方に *dah* を入れることも可能だが、主節の内容が「この袋を買う」だと意味的に難しい。市場へ行けば、「この袋を買う」ことが十分想定されるからである。(48)のような文ならば、意味的に問題なく成立する。市場に出かけてしまってから財布を家に忘れたことを思い出すのでは遅すぎる、つまり、「市場に行く」のが理想的な出来事の発生順序よりも前に起きてしまっているのである。

- (48) Semasa saya *dah* pergi ke pasar, baru saya ingat yang dompet saya tertinggal di rumah.  
when 1SG already go to market finally 1SG remember COMP wallet 1SG left.behind at house  
「私はもう市場に行ってしまったとき、ようやく家に財布を忘れたのを思い出した。」

(49)についても同様で、日本語文に最も近いのは *dah* 「もう」のない(49a)で、*dah* がある(49b-d)には「想定される時間より前」という意味が加わる。

- (49) a. Saya tahu yang dia beli beg ini di pasar. [28]  
1SG know COMP 3SG buy bag this at market  
「私は彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。」  
b. Saya *dah* tahu yang dia beli beg ini di pasar.  
1SG already know COMP 3SG buy bag this at market  
「私はもう彼が市場でこの袋を買ったのを知っていた。」  
c. Saya tahu yang dia *dah* beli beg ini di pasar.  
1SG know COMP 3SG already buy bag this at market  
「私は彼がもう市場でこの袋を買ったのを知っていた。」  
d. Saya *dah* tahu yang dia *dah* beli beg ini di pasar.  
1SG already know COMP 3SG already buy bag this at market  
「私はもう彼がもう市場でこの袋を買ったのを知っていた。」

#### 参考文献

- Asmah Haji Omar. 2009. *Nahu Melayu Mutakhir (Edisi Kelima)*. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka.  
Dietrich, Gerhard. 1955. *Erweiterte Form, Präteritum und Perfektum im Englischen: Eine Aspekt- und Tempusstudie*. Munich: Max Hueber Verlag.  
Giorgi, Alessandra and Fabio Pianesi. 1997. *Tense and Aspect: From Semantics to Morphosyntax*. New York: Oxford University Press.  
Goldhahn, Dirk, Thomas Eckart and Uwe Quasthoff. 2012. Building large monolingual dictionaries at the Leipzig Corpora Collection: From 100 to 200 languages. In *Proceedings of the Eighth International Conference on Language Resources and Evaluation (LREC'12)*.  
風間伸次郎. 2010. 「[テーマ企画：特集 アスペクト] まえがき」『語学研究所論集』15: 25-57. 東京外国語大学.  
Klein, Wolfgang. 1994. *Time in Language*. London: Routledge.  
Koh, Anne Sweesum. 1990. *Topics in Colloquial Malay*.メルボルン大学博士論文.  
Kroger, Paul R. 2019. *Analyzing Meaning: An Introduction to Semantics and Pragmatics (Second Corrected and Slightly Revised Edition)*. Berlin: Language Science Press.

- Krifka, Manfred. 2000. Alternatives for aspectual particles: Semantics of *still* and *already*. In L. J. Conathan, Jeff Good, D. Kavitskaya, A. B. Wulf and A. C. L. Yu (eds.) *Proceedings of the Twenty-Sixth Annual Meeting of the Berkeley Linguistics Society: General Session and Parasession on Aspect*, 401–412. Berkeley: Berkeley Linguistics Society.
- Löbner, Sebastian. 1989. German *schon-erst-noch*: An integrated analysis. *Linguistics and Philosophy* 12: 167–212.
- Mashudi Kader. 1981. *The Syntax of Malay Interrogatives*. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka.
- McCoard, Robert. 1978. *The English Perfect: Tense-Choice and Pragmatic Inference*. Amsterdam: North-Holland Publishing.
- Mintz, Malcolm W. 2002. *An Indonesian & Malay Grammar for Students (Second Edition)*. Perth: Indonesian/Malay Texts and Resources.
- 森山幹弘, 柏村彰夫, 稲垣和也. 2018. 『ワークブック インドネシア語 第1巻』三元社.
- Nomoto, Hiroki, Shiro Akasegawa and Asako Shiohara. 2018. Building an open online concordancer for Malay/Indonesian. The 22nd International Symposium on Malay/Indonesian Linguistics (ISMIL)での発表論文.
- 野元裕樹, ムハammad・ファリス・シノン・ビン・マスリン. 2019. 「マレーシア語の否定と連体修飾複文」『語学研究所論集』23: 189–200. 東京外国語大学.
- Nomoto, Hiroki and Hooi Ling Soh. 2019. Malay. In Alice Vittrant and Justin Watkins (eds.) *The Mainland Southeast Asia Linguistic Area*, 475–522. Berlin: Mouton de Gruyter.
- 小野沢純. 1996. 『基礎マレーシア語』大学書林.
- Ramli Salleh. 1989. *Fronted Constituents in Malay: Base Structures and Move Alpha in a Configurational Non-Indo-European Language*. Kuala Lumpur: Dewan Bahasa dan Pustaka.
- Soh, Hooi Ling. 1994. *Aspect and the Organization of Argument Structure and Phrase Structure: Evidence from Malay*. カルガリー大学修士論文.
- Soh, Hooi Ling. 2011. The syntax of *dah* in Colloquial Malay. The 15th International Symposium on Malay/Indonesian Linguistics (ISMIL)での発表論文.
- Soh, Hooi Ling. 2012. The aspectual marker *dah* in Colloquial Malay. The 19th Annual Meeting of the Austronesian Formal Linguistics Association (AFLA)での発表論文.
- Soh, Hooi Ling and Meijia Gao. 2006. Perfective aspect and transition in Mandarin Chinese: An analysis of double *-le* sentences. In Pascal Denis, E. McCready, Alexis Palmer and Brian Reese (eds.) *Proceedings of 2004 Texas Linguistics Society Conference*, 107–122. Somerville: Cascadilla Press.
- Vander Klok, Jozina and Lisa Matthewson. 2015. Distinguishing *already* from perfect aspect: A case study of Javanese *wis*. *Oceanic Linguistics* 54: 172–205.

執筆者連絡先 : nomoto@tufs.ac.jp (野元), farez\_syinon@yahoo.com (ムハammad・ファリス・シノン)

原稿受理 : 2020年1月7日